



国総研での最近の議論

国土技術政策総合研究所

1. 国総研の使命

設立以来の国総研の使命は、

- ・住宅・社会資本のエンドユーザーである国民一人一人の満足度を高める

デマンドサイドのニーズを如何に的確に把握するか

- ・政策立案に役立つ研究の実施

国民の満足度を高めるためのシナリオライターとしての仕事が重要

2. 国総研の政策課題

- 国土交通省の使命を果たすための4本の柱
 - 「持続可能な社会を支える美しい国土の形成」
 - 「安全で安心な国土づくり」
 - 「豊かでゆとりのある暮らしの実現」
 - 「活力ある社会、個性ある地域の創造」
- 仕事の進め方に関する支援として3本の柱
 - 「住宅・社会資本整備マネジメント手法の向上」
 - 「高度情報化社会に対応した国土づくり」
 - 「国際社会への対応と貢献」

7本の柱、16の技術政策課題、27のサブテーマを掲げてスタート
- 14のプロジェクト研究 + n個の卵

3. 最近の動き

設立から一年近くが経過し、議論を深めておくべきテーマ(基本的な課題)が浮上。

当面、以下の3テーマについて議論を始めている。

- ・ 社会資本整備を行う上での評価軸について
- ・ 美しい国土とは何か？
- ・ 豊かでゆとりのある生活とは何か？

. 社会資本整備を行う上での評価軸について

価値観が多様化・高度化する中で、エンドユーザーのニーズを的確に評価できる座標軸

- ・ B / C適用の限界
- ・ 総合（複数の評価軸）評価による代替案の評価
- ・ 貨幣換算できない価値の評価
（安全・安心、環境etc.）
- ・ 合意形成の手法

・社会資本整備を行う上での評価軸について（続き）

効率的に事業を進めていく上で必要となる座標軸

- ・総合的評価(間接的なコスト、環境負荷、維持管理、時間管理概念etc.)による契約手法
(PFI、DB、VE etc.)
- ・新技術の速やかな導入
- ・施工時・完成時における品質管理手法

. 美しい国土とは何か？

多様な側面、切り口、価値観の存在する概念、主観の支配も

- ・国土の地形・地質的特徴 生物多様性、人と自然のやりとりの中での均衡、人工美
- ・残す (守る) 美しさ、創る美しさ、修復する美しさ
- ・視覚的な美しさ、清らかさ (環境的指標など) から転じた美しさ、観念的な美しさ

. 美しい国土とは何か？

(続き)

- ・日本人(地域の人々)にとっての(自慢したい)美しさ
来訪者にとっての(羨ましい)美しさ
- ・歴史・文化の共有が感じさせる美しさ、誰にでも共感できる美しさ
- etc.

発散する傾向はあるが、その中から目的に応じた糸(軸)を引き出すことが重要

. 豊かでゆとりのある生活とは何か？

豊かさに対する満足度は、個人的（虫瞰的）なものから社会的（鳥瞰的）なものまで多様

- ・豊かさが感じられない、豊かさ指標と感覚の乖離
- ・豊かさの特徴がわかるような指標の提案と実証

住まいに求められること

- ・省エネ、低コスト、低環境負荷、バリアフリーなどの20世紀的課題
- ・持続性、自然共生を目指した21世紀型住宅（長持ち、日本の自然条件）

. 豊かでゆとりのある生活とは何か？

(続き)

都市に求められること

- ・都市サービス(ライフライン、医療・介護etc.)
- ・活力(にぎわい、交流、雇用機会etc.)
- ・持続可能なコンパクトな都市(中心市街地の再生)

地域に求められること

- ・地域の個性(地方文化、歴史、他にはない特徴etc.)
個人の嗜好、人生観に合わせた複数の指標
- ・都市・地域の個性化

主観、個人差の大きな分野での、意志決定の手法